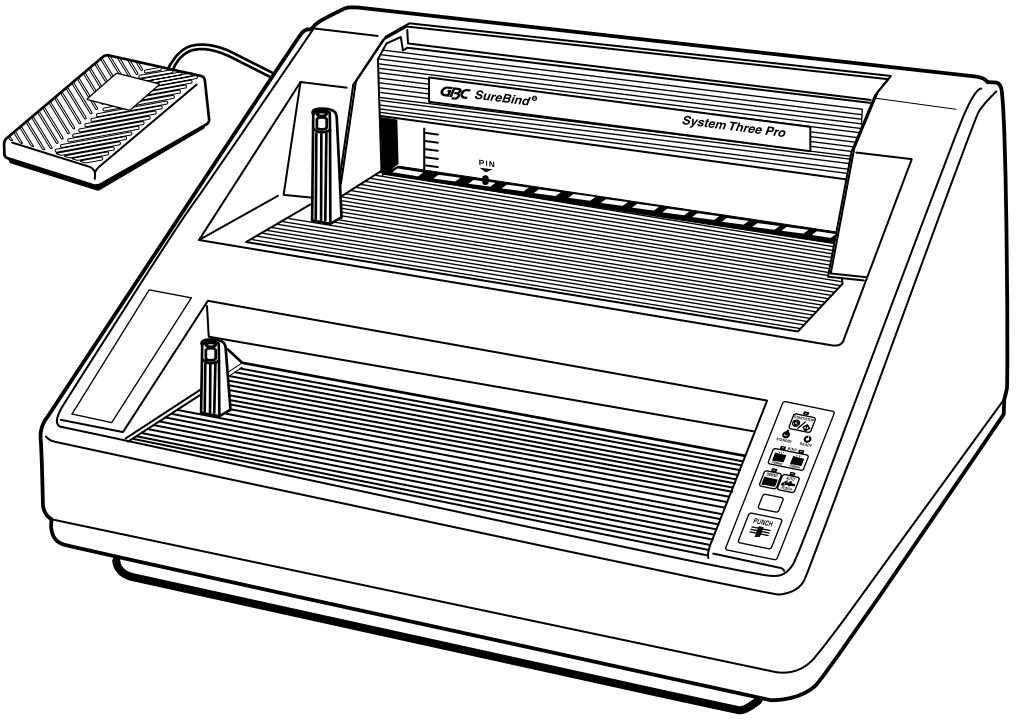
取　扱　説　明　書

シュアバインド システム
SureBind System Three Pro

GSB3000 PRO



日本ジー・ビー・シー株式会社

〒164-0012　東京都中野区本町1-32-2　ハーモニータワー
TEL.03(5351)1801

はじめに

このたびはGBCシュアバインド System Three Proをお買い求めいただき、ありがとうございます。
GBCシュアバインドはいつでも、どこでも、簡単に、短時間で、きれいに製本することができます。くし状の専用ストリップを使用し、しっかりとした美しい仕上がりの製本をすることのできるオフィス用の製本機です。
ご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みいただき、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。
本取扱説明書は必ず保管してください。

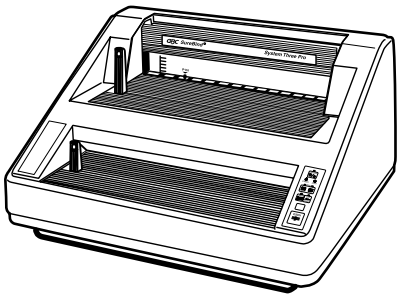
目　次

◆内容物の確認 …… 1
◆ご使用上の注意 …… 2
◆各部の名称と働き …… 3
◆使用方法　ーセットアップー …… 4
◆　ーパンチー …… 5
◆　ーバインドー …… 6
◆　ーデバインドー …… 7
◆こんなときは …… 8
◆お手入れ方法 …… 9
◆仕様 …… 9
◆保証とサービス …… 9

内容物の確認

下記のとおり、本体及び付属品が同梱されていることを確認してください。後述のセット方法にしたがって必要な部品を取り付けてご利用ください

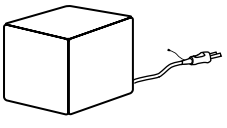
マシン本体



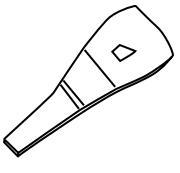
フットペダル

電源コード

専用トランス
（50Hz地域　230Vトランス
60Hz地域　120Vトランス）



デバインダー



取扱説明書

ご使用上の注意

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろ絵表示しています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警 告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注 意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

警 告

本機には電源周波数に応じた仕様の付属トランスを用意しています。必ず仕様に応じた電源周波数で使用し、異なる電源周波数地域では使用しないでください。

絶対にパンチ用紙類挿入口には手を入れないでください。
※けがをする原因になることがあります。

絶対にヒーターブレードを指などで直接さわらないでください。ストリップをセットせずに、プレッシャーバーを下ろすと、ヒーターブレードが現れますので十分に注意してください。
※高温のため、やけどをする恐れがあります。

濡れた手で電源プラグを扱わないでください。
※感電の恐れがあります。

電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、コードの上に重いものをのせたり、しないでください。　※火災、感電の恐れがあります。

ご自分で分解、改造、修理をしないでください。
※感電や思わぬけがをする恐れがあります。

注 意

本機は、くし状の専用ストリップを使用して綴じる製本機です。本機を製本以外の目的に使用しないでください。　※故障の原因になることがあります。

本機は重量がありますので、水平で安定した場所に設置してください。また、使用する机や台は丈夫でしっかりしたものを使用してください。　※けがをする原因になることがあります。

移動の際は必ずチップトレイをはずして持ってください。
※落として、けがをする原因になることがあります。

移動の際は落としたり、強くぶつけたりしないでください。
※故障の原因になることがあります。

冷暖房機のそば、高温多湿な場所、埃の多い場所で使用しないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

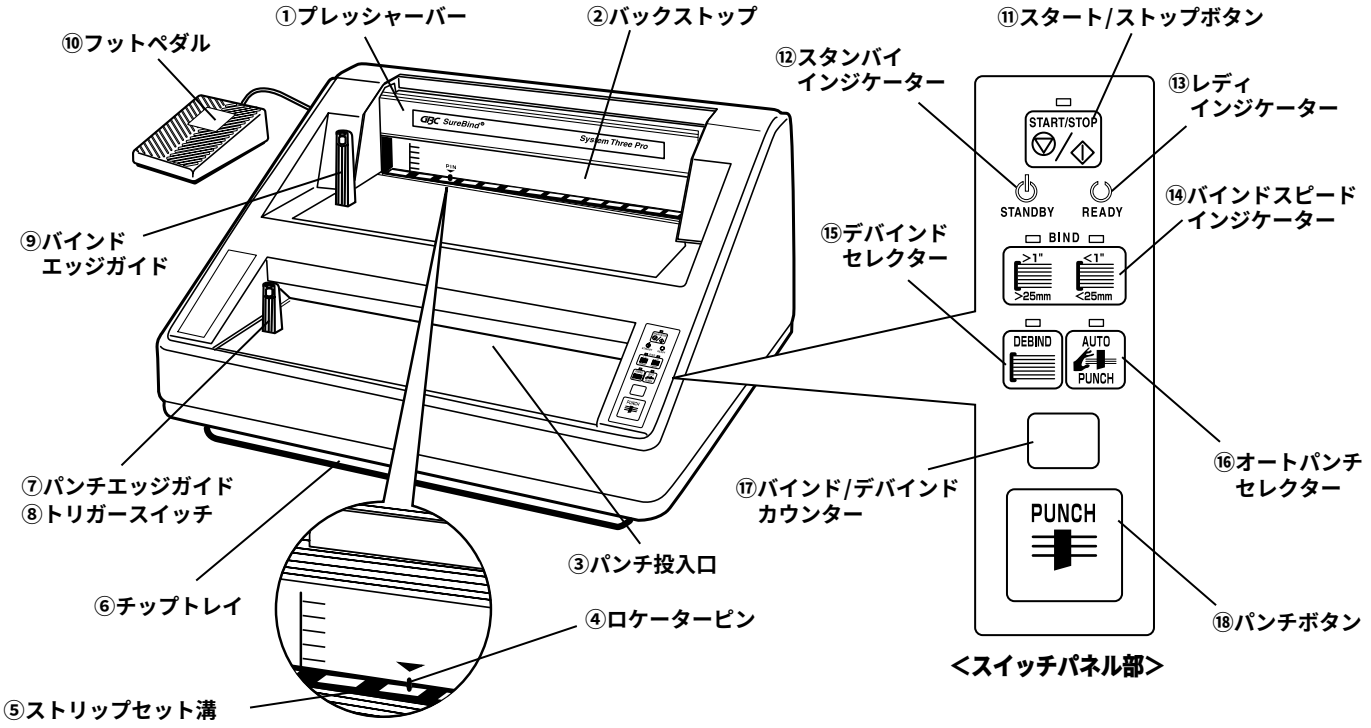
本機に水などをかけないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

電源プラグを抜く時は必ずプラグ部を持って抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。

必ずコンセントの近くで本機を利用し、電源プラグが容易に着脱できるように、コンセントの傍らに物を置かないでください。

電源は必ずＡＣ１００Ｖ電源をご使用ください。本機は消費電力が大きいので、タコ足配線はしないでください。　※火災、感電の恐れがあります。

各部の名称と働き



<スイッチパネル部>

①プレッシャーバー	：綴じる書類とストリップをセットしたら、プレッシャーバーを下ろします。書類を押さえとともにスタートスイッチとして機能し、製本がスタートします。
②バックストップ	：綴じる書類をバインディングエッジガイドとバックストップに合わせてセットします。簡単にパンチされた穴を揃えることができます。また、使用するストリップのサイズを左側にあるシックネスゲージを参考に決めます。
③パンチ投入口	：パンチする書類を差し込んでください。
④ロケーターピン	：ストリップ受側（穴の開いたストリップ）を正しい位置にセットするための"PIN"と表示されたガイドです。ロケーターピンにストリップ受側にある一番小さな穴をセットします。
⑤ストリップセット溝	：ストリップ受側を溝に入れてセットします。
⑥チップトレイ	：パンチされた「くず」やカットされたピンをためる場所です。
⑦パンチエッジガイド	：パンチする書類のサイズに合わせてガイドをセットします。
⑧トリガースイッチ	：オートパンチセレクターで「AUTO」を選択した場合は、パンチエッジガイドの内側にあるトリガースイッチをパンチする書類で押すと、パンチすることができます。
⑨バインドエッジガイド	：綴じる書類をバインドエッジガイドとバックストップに合わせてセットします。
⑩フットペダル	：マニュアルモード（オートパンチセレクター消灯）時に、フットペダルを利用してパンチすることできます。
⑪スタート/ストップボタン	：電源スイッチです。使用する時は、スタート/ストップボタンを押してインジケーターを点灯させてください。また、使用しない場合は電源をオフにしてください。
⑫スタンバイインジケーター	：スタートボタンを押すと、スタンバイインジケーターが点灯します。これはウォームアップ中であることを表し、レディインジケーターが点灯するまで約60秒間お待ちください。
⑬レディインジケーター	：レディインジケーターが点灯し、ウォームアップ完了です。製本することができます。
⑭バインドスピードインジケーター	：綴じる書類の厚さに合わせて、バインドスピードを設定します。書類の厚さが1"(25mm)以下の場合は「＜1"」を、1"(25mm)以上の場合は「＞1"」を選択します。
⑮デバインドセレクター	：デバインド（綴じた書類を解体する）する場合は、このモードを選択し、バインド時と同じ手順で製本した書類をセットしてデバインドします。
⑯オートパンチセレクター	：「オートモード」でパンチする時に選択します。オートモードはトリガースイッチを利用してパンチすることです。
⑰バインド/デバインドカウンター	：バインドモードの場合は製本した数量を、デバインドモードの場合はデバインドが終了するまでの時間をディスプレイで表示します。
⑱パンチボタン	：マニュアルモード（オートパンチセレクター消灯）時は、このボタンを押すとパンチすることできます。

使用方法　ー　セットアップ　ー

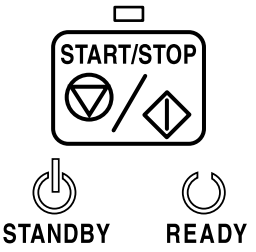
＜電源＞

日本国内では2つの異なる電源周波数が使用されているので、電源周波数に応じて本機とトランスを使い分ける必要があります。専用トランスは本機以外に絶対に使用しないでください。

①付属の専用トランスをAC100Vのコンセントに接続してください。
（50Hzの場合は230Vトランス、60Hzの場合は120Vトランスを使用します。）

②本機の電源プラグを付属の専用トランスに接続してください。

③スイッチパネル部の「スタート/ストップボタン」を押して、上部のインジケーターを点灯させてください。
スタートボタンを押すと、スタンバイインジケーターが点灯します。これはウォームアップ中であることを表し、レディインジケーターが点灯するまで約60秒間お待ちください。
レディインジケーターが点灯し、ウォームアップ完了です。パンチ・製本することができます。



＜フットペダル＞

①付属フットペダルのエアーホースを本機背面にある接続口に、奥まできちんと差し込んでください。

＜エッジガイド＞

①パインドエッジガイドの固定
パインディングエッジガイドの上部にあるネジを緩め、綴じる書類サイズのスケールに合うようにパインドエッジガイドをスライドさせて固定します。
A4は297mm、B5は257mm、レターサイズは279mmの位置に合わせます。
＜確認方法＞
使用するサイズのストリップ受側をストリップセット溝に合わせてセットし、このストリップと左端を合わせて、綴じる書類と同じサイズの紙を置きます。この時、パインドエッジガイドがセットした紙と正しく接しているか確認してください。

②パンチエッジガイドの固定
パンチエッジガイドの上部にあるネジを緩め、綴じる書類サイズのスケールに合うようにパンチエッジガイドをスライドさせて固定します。
A4は297mm、B5は257mm、レターサイズは279mmの位置に合わせます。
＜確認方法＞
使用するサイズのストリップ受側をストリップセット溝に合わせてセットし、このストリップとパンチした紙をのせます。この時、ストリップ受側の穴と紙のパンチ穴が合っているか、ストリップと紙の左端が合っているかを確認してください。

使用方法　ー　パンチ　ー

◆レディインジケーターが点灯し、パンチ可能であることを確認してください。
◆パインドエッジガイドが正しい位置に固定されていることを確認してください。
「前述パインドエッジガイドの固定」を参照。
◆書類をパンチする前に、あらかじめストリップ受側をストリップセット溝にセットし、パンチした書類をのせて行きますと、丁合をを同時にすることができます。
裏表紙→本文（後から）→表表紙の順番でパンチして、ストリップ受側の上にのせて行きます。

①オートパンチセレクターで「オートモード」（インジケーター点灯）でパンチをするかを選択します。オートモードはパンチエッジガイドの内側にあるトリガースイッチを利用してパンチすることです。インジケーターが消灯している場合はマニュアルモードになり、フットペダルかパンチボタンを押してパンチします。

＜マニュアルモード（パンチボタン）＞
パンチボタンを手で押してパンチします。
書類のパンチされる側をきれいに揃え、パンチエッジガイドに合わせて書類を左側にスライドさせセットし、パンチ投入口の奥まで入れます。そしてパンチボタンを押します。

＜マニュアルモード（フットペダル）＞
フットペダルを足で踏んでパンチします。
書類のパンチされる側をきれいに揃え、パンチエッジガイドに合わせて書類を左側にスライドさせセットし、パンチ投入口の奥まで入れます。そしてフットペダルを踏んでパンチします。

＜オートモード（トリガースイッチ）＞
トリガースイッチをパンチする書類で押してパンチします。
書類のパンチされる側をきれいに揃え、パンチ投入口の奥まで入れます。この時、左側がトリガースイッチに触らないようにしてください。そして、書類を左へスライドさせてパンチエッジガイド内側にあるトリガースイッチに当ててパンチします。

（パンチ時の注意）

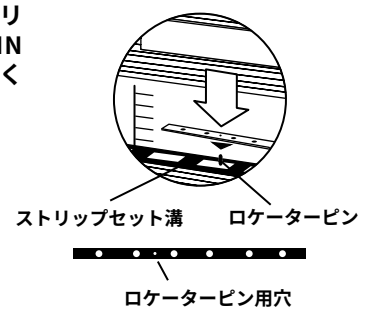
●一度のパンチは25枚以内に分けてください。（コピー用紙換算）
●表・裏表紙用のカバーや透明カバーをパンチする際は3枚以内に分けてパンチしてください。
●OHPシートや軟質ビニール等はパンチしないでください。

②パンチが終了しましたら、必ず「チップトレイ」にたまったゴミを捨ててください。
ゴミがたまり過ぎますと故障の原因となることがあります。

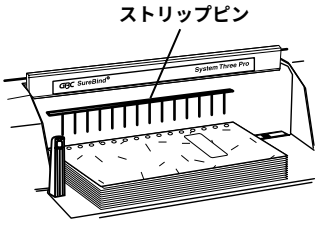
使用方法　ー　バインド　ー

◆レディインジケーターが点灯し、製本可能であることを確認してください。
◆バインドエッジガイドが正しい位置に固定されていることを確認してください。
「前述バインドエッジガイドの固定」を参照。

①パックストップの前にあるストリップセット溝にストリップ受側（穴の開いたストリップ）をセットします。その際、ストリップ受側の小さな穴がロケーターピン（PINと表記されている）に正しくセットされているかどうかを確認してください。正しくセットされていないと、製本できなかったり、故障の原因になります。



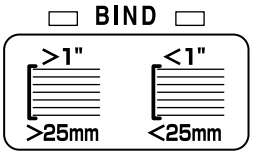
②パンチされた裏表紙、本文、表紙をストリップの受側の上にセットします。



③バックストップ左側にある書類の厚みを計るシックネスゲージが示すサイズのストリップピン（くぎ差しストリップ）を用意します。

④ストリップピン（くぎ差しストリップ）を表紙の上から奥まで製本物に差し込んでください。

⑤綴じる書類の厚さに合わせて、バインドスピードを設定します。書類の厚さが1"(25mm)以下の場合は「＜1"」を、1"(25mm)以上の場合は「＞1"」を選択します。



⑥プレッシャーバーを引き出し、ストリップの上に下ろして軽くプレッシャーバーを押してください。プレッシャーバーは書類を押さえるとともにスタートスイッチとして機能し、製本がスタートします。

高温になっているヒーターブレードがストリップセット溝付近に出てきますので、ヒーターブレードには絶対にさわらないでください。また、ストリップをセットせずにプレッシャーバーを絶対に下ろさないでください。

⑦プレッシャーバーが上がり、バインド終了です。

⑧使用後はスタート/ストップボタンを押してインジケーターを消灯させてください。
安全のために必ず電源をオフにしてください。

使用方法　ー　デバインド　ー

一度製本された書類を簡単に解体することができます。これをデバインドと言い、本機の「デバインドモード」を利用する方法と、付属の「デバインダー」を利用する方法があります。

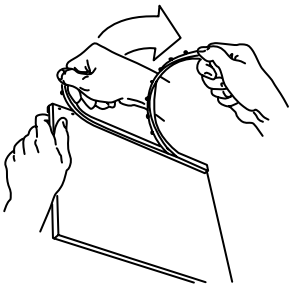
<デバインドモード>

①「デバインドセレクター」ボタンを押して「デバインドモード」にします。

②ストリップセット溝にストリップ受側を下にしてセットします。その際、ストリップ受側の小さな穴がロケーターピン（PINと表記されている）に正しくセットされているかどうかを確認してください。

手順は制本時と同じです。（前項ーバインドーを参照）

③プレッシャーバーを引き出し、ストリップの上に下ろして軽くプレッシャーバーを押してください。プレッシャーバーは書類を押さえるとともにスタートスイッチとして機能し、デバインドがスタートします。
デバインドが終了するまでの時間がディスプレイで表示されます。



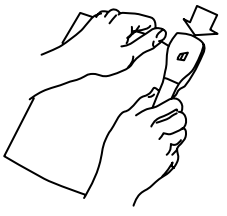
④プレッシャーバーが上がり、デバインド終了です。
デバインド終了しましたら、すばやく裏返し、左手で書類本体を押さえ、右手で裏面のストリップ受側を引き剥がします。そして、ストリップピンも抜き取ります。

この時、時間を開けますと、離れたストリップが再度溶着してしまいますので、デバインド終了後は素早く引き剥がしてください。

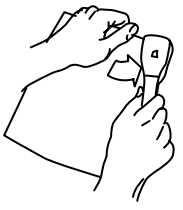
<デバインダー利用>

①平らな所に製本された書類の裏表紙側を上にして、ストリップ（綴じ側）を右にして置きます。

②書類を左手でしっかり押さえ、デバインドカッターの刃を裏表紙とストリップ（受側）の間に入れてストリップのピン部に当たるように手前に引いてください。



③右手にデバインドカッターを持ち、ハンドルの手元を右に振りながら、「てこ」を利用して一本ずつ刈り取るように切ってください。
最後に残ったピンを切り取るときは滑りやすいので、ゆっくりと切ってください。



デバインドカッターには鋭利な刃物が取り付けられています。取扱いには十分ご注意ください。

こんなときは

現　象	原　因	対 処 法	参照ページ
電源が入らない	☆電源プラグが接続されていますか？	本機電源プラグを付属の専用トランスに接続し、トランスの電源プラグをコンセントに接続してください。	4
	☆スタート/ストップボタン上部のインジケーターが点灯していますか？	電源スイッチになるスタート/ストップボタンを押して、上部のインジケーターを点灯させてください。	4
操作できない	☆レディインジケーターが点灯していますか？	ウォームアップ中はスタンバイインジケーターが点灯しています。約60秒後にウォームアップ完了を示すレディインジケーターが点灯します。	4
パンチできない	☆オートパンチセレクターの選択をしましたか？	オートパンチセレクターで「オートモード」（インジケーター点灯）でパンチをするかを選択します。インジケーター消灯時はマニュアルモードになります。	5
	☆一度にパンチする書類の枚数が多すぎませんか？	適正な枚数に枚数を減らしてパンチしてください。ワンパンチのパンチ能力は25枚（コピー用紙）、3枚（カバー）です。	5
パンチ穴がずれる	☆左側と奥側のガイドに書類をきちんと当ててパンチしていますか？	パンチする時は、まず奥のガイドに書類をきちんと当て、次に左へスライドさせて左側のガイドへ当て、パンチしてください。	5
	☆パンチエッジガイドが正しくセットされていますか？	パンチエッジガイドを綴じる書類サイズのスケールに合うようにセットし直してください。	5
うまく製本ができない	☆適合したサイズのストリップピンを使用していますか？	シックネスゲージが示すサイズのストリップピン（くぎ差しストリップ）を使用してください。	6
	☆バインドセレクターは正しく選択しました？	バインドスピードセレクターを綴じる書類の厚さに合わせて、選択してください。書類の厚さが1"(25mm)以下の場合は「＜1"」を、1"(25mm)以上の場合は「＞1"」を選択します。	6
	☆ストリップがロケーターピンにきちんとセットされていますか？	ストリップのセット用の小さな穴がロケーターピンに正しくセットされているか確認してください。	6
	☆ストリップとパンチされた穴がきちんと合っていますか？	パインドエッジガイドが正しい位置にあれば、パンチ穴とストリップ受側はきちんと合います。パインドエッジガイドを正しい位置にセットし直してください。	4,6
ルーズに製本される	☆プレッシャーバーをしっかりと綴じる書類の上に下ろしましたか？	プレッシャーバーは綴じる書類をタイトに押さえる役も持ちます。プレッシャーバーを下ろす時、書類を強めに押さえて製本をスタートさせてください。	6
ピンがうまく切れない	☆ストリップがロケーターピンにきちんとセットされていますか？	ストリップのセット用の小さな穴がロケーターピンに正しくセットされているか確認してください。	6
	☆ストリップとパンチされた穴がきちんと合っていますか？	パインドエッジガイドが正しい位置にあれば、パンチ穴とストリップ受側はきちんと合います。パインドエッジガイドを正しい位置にセットし直してください。	4,6
ピンが切れずに残る	☆機械内部の加熱、溶着タイミング不良	タイミング調整が必要です。調整を販売店に依頼してください。	6
デバインドできない（デバインドモード時）	☆ストリップがロケーターピンにきちんとセットされていますか？	ストリップのセット用の小さな穴がロケーターピンに正しくセットされているか確認してください。	6,7
	☆デバインド終了後すばやくストリップを外しましたか？	時間を開けますと、離れたストリップが再度溶着してしまいますので、デバインド終了後は素早く引き剥がしてください。 ストリップピンとストリップ受側の両方を外してください。	7
デバインドできない（デバインダー使用時）	☆デバインダーを正しい位置・手順で使用しましたか？	デバインダーを正しい位置・手順で使用してください。	7
デバインド時にカバーに傷が付く（デバインダー使用時）	☆デバインダーの刃の切れが悪くなっていませんか？	デバインダーの刃を交換してください。	7

※上記の対処策を講じても解決できない場合は、販売店にご連絡ください。

お手入れ方法

必ず電源プラグをコンセントから抜いてあることを確認してください。

★やわらかい布で、から拭きをしてください。
※お手入れはマシン本体の外部だけにしてください。

★汚れがひどい時は、中性洗剤をごく少量だけ布につけて拭いてください。
※シンナー･ベンジン等は変色･変形･傷などの原因となりますので使用しないでください。

仕　　様

製　品　名	シュアバインド システム スリープロ
品　　番	GSB3000　PRO
サイズ(W)×(D)×(H)	576x 460x 345 mm
質　　量	27.2 kg
電　　源	120V、60Hz／230V、50Hz（専用トランスにて昇圧して使用）
消費電力	1020 W ／ 920 W
＜製本能力＞	
最大加工幅	297mm（A4長辺）
最大加工厚	～75mm
パ　ン　チ	電動式　25枚/パンチ（コピー用紙）
バインド	～1 ”(25mm)　約8秒
	1 ”(25mm)～　約13秒
デバインド	約35秒
ウォームアップ	約60秒

保証とサービス

★保証書は内容を確認のうえ、保存してください。
販売店印、お買い上げ年月日の記入のないものは無効となりますのでご注意ください。

★保証期間中に正常な使用状態で、万一故障した場合には、保証書記載事項に基づき、無償修理いたしますのでお買い求めの販売店、または、弊社へお申し出ください。